

(別添)

旧耐震基準の木造住宅の除却における容易な耐震診断調査票

調査日時: _____ 年 ____ 月 ____ 日 午前・午後 ____ 時

調査者氏名:

I) 建築物の概要

1. 建築物の所有者:
2. 建築物所在地:
3. 階数:

II) 前提条件の確認(いずれも必須)

チェック欄

木造住宅である	
昭和56年5月31日以前に新築の工事に着手した	

III) 一見して倒壊の危険性があると判断できる項目

(1以上ある場合は倒壊の危険性があると判断)

建物全体	全体又は一部に崩壊がある	
	全体又は一部に傾斜や変形がある	
地盤・基礎	地盤沈下が生じている	
	基礎がコンクリート以外(玉石、石積み、ブロック等)である	
	基礎がコンクリートであり、ひび割れや欠損が見られる	
老朽・腐朽	柱、梁、壁、土台等の構造部に白蟻の被害がある	
	柱、梁、壁、土台等の構造部に腐朽が見られる	
	柱、梁、壁、土台等の構造部に損傷や欠損が見られる	

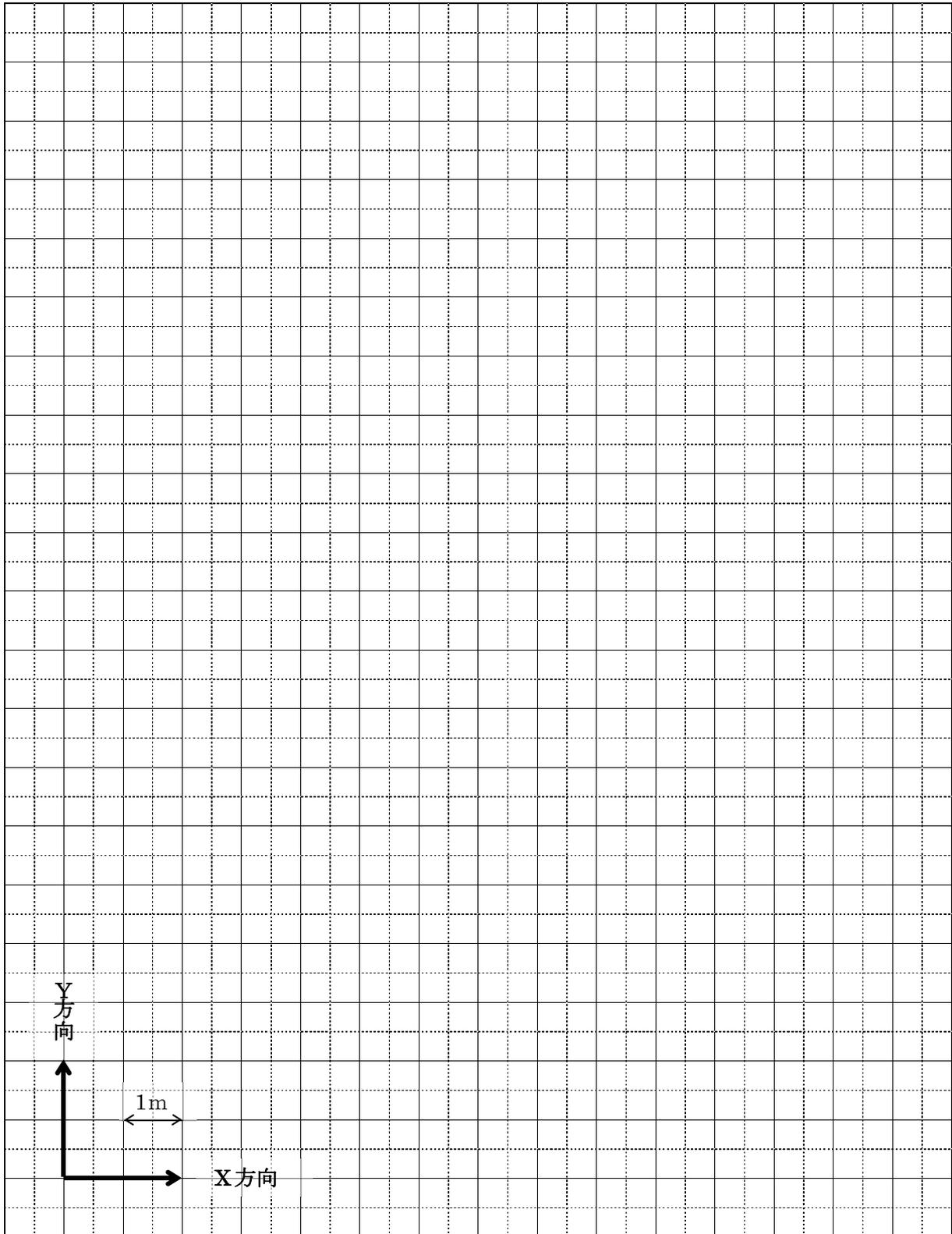
IV) 壁の割合

一見して倒壊の危険性があると判断できない場合でも、壁の割合が0.8未満である場合は、倒壊の危険性があると判断できるものとする。

	(イ)	(ロ)	(ハ)	(ニ)	(ホ)壁の割合
方向	壁の長さ(m)	建面積(m ²)	イ/ロ	必要値	ハ/ニ
X					
Y					

IV) 壁の割合 記入用紙

壁の長さの計測



(イ) 壁の長さの合計

① X (横) 方向

① m

② Y (縦) 方向

② m

①②のうち小さいほうを記入してください。

イ m

(ロ) 面積

ロ m²

(ハ) 単位面積あたりの壁の長さ

イ ÷ ロ = ハ

(ニ) 必要な壁の長さ

ニ m

下の表から該当するものを選んで記入してください。

階数	平家	2階建
屋根の種類		
軽い屋根 (鉄板葺・石綿板葺・スレート葺等)	0.20	0.52
重い屋根 (かや葺・瓦葺等)	0.27	0.59

(ホ) 壁の割合

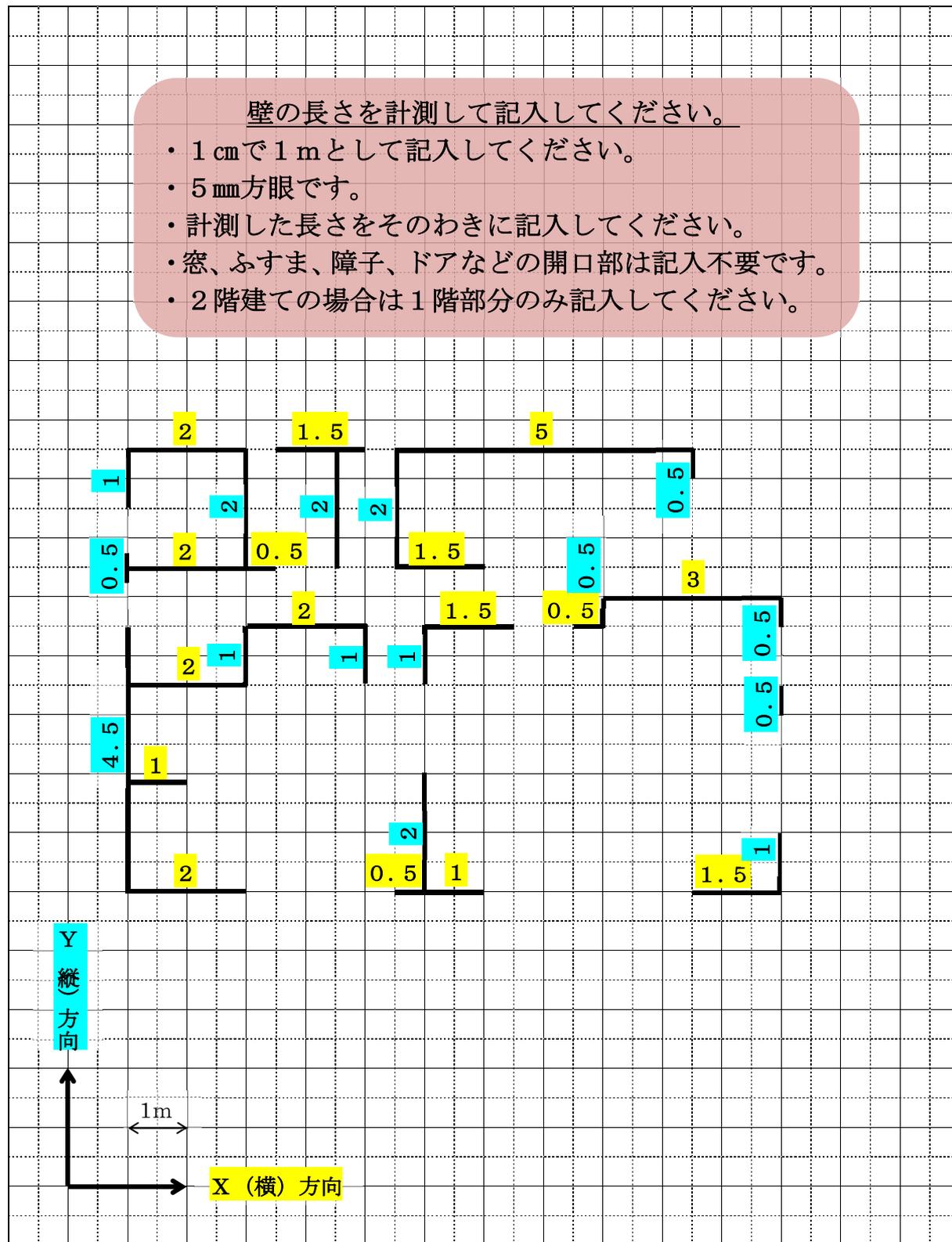
ハ ÷ ニ = ホ

IV) 壁の割合 記入用紙

壁の長さの計測

壁の長さを計測して記入してください。

- 1 cmで1 mとして記入してください。
- 5 mm方眼です。
- 計測した長さをそのわきに記入してください。
- 窓、ふすま、障子、ドアなどの開口部は記入不要です。
- 2階建ての場合は1階部分のみ記入してください。



(イ) 壁の長さの合計

① X (横) 方向

①
27.5

 m

② Y (縦) 方向

②
20

 m

①②のうち小さいほうを記入してください。

イ
20

 m

(ロ) 面積

ロ
75

 m²

(ハ) 単位面積あたりの壁の長さ

イ	÷	ロ	=	ハ
20		75		0.27

(ニ) 必要な壁の長さ

ニ
0.20

 m

下の表から該当するものを選んで記入してください。

階数	平家	2階建
屋根の種類		
軽い屋根 (鉄板葺・石綿板葺・スレート葺等)	0.20	0.52
重い屋根 (かや葺・瓦葺等)	0.27	0.59

(ホ) 壁の割合

ハ	÷	ニ	=	ホ
0.27		0.20		1.35